

アメリカ合衆国大統領
ジョージ・ブッシュ 殿

沖縄女子中学生暴行事件に厳重に抗議する
すみやかに米軍基地を縮小・撤去せよ

沖縄県北谷町で2月10日夜、発生した米海兵隊員による中学3年生の女子生徒への暴行事件にたいし、私たちは満身の怒りをこめて抗議するとともに、徹底した糾明と処罰、再発防止を強く求めます。

米兵による犯罪は、1972年の祖国復帰以後だけでも沖縄県で5000件を超え、中でも1995年9月の米兵3人による少女暴行事件は、長年の米兵犯罪に苦しむ沖縄県民の大きな怒りをよびおこしました。しかし、米日政府はその後、米兵を特権的に保護する「日米地位協定」の抜本改正に取り組まないばかりか、在日米軍基地の再編・強化を積極的に推進し、日本国民に新たな負担を強いています。

貴軍幹部は、このような事件が発生するたびに、「遺憾」「綱紀粛正」などと述べます。しかし、私たちは、このような言葉を何度聞かされてももう我慢も限界です。米軍基地があるかぎり、こうした事件はいつでも発生する可能性があるのです。

今回の事件は、核兵器廃絶・平和を願う流れが世界の大勢となっているとき、貴国だけがイラク、アフガンなど世界の各地で戦争をすすめ、この中で在日米軍基地が突出して拡大・強化されていることと決して無関係ではありません。「核兵器のない平和で公正な世界」を願う私たちは、日本全土からすみやかに米軍基地を縮小・撤去することを重ねて強く要求します。

2008年2月15日
原水爆禁止世界大会第61回実行委員会総会